

震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～

平成 24 年 2 月 3 日

「地域文化と津波」～津波災害の文化的位置づけと教育の在り方について～

リアス・アーク美術館 学芸員（学芸係長） 山内宏泰 氏

I. 震災被害について

気仙沼市の被害記録。（山内宏泰氏撮影）スライド鑑賞

II. 明治 29 年、昭和 8 年三陸大津波の記録、津波対策の歴史について

風俗画報に見る明治三陸大津波の記録。スライド鑑賞

III. なぜ記録は伝わらなかったのか

IV. 教育の重要性。恒久的な津波文化教育という考え方について

- ①「地域文化としての津波」という考えについて
- ②津波文化を学ぶということの意味について
- ③表現の重要性について
- ④津波文化を学ぶための方法について
- ⑤津波文化学習のための教科書について
- ⑥学習成果の発表・児童の表現による津波文化の普及について
- ⑦津波文化学習の可能性について

V. まとめ、地域文化と教育役割について

震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～

平成 24 年 2 月 3 日

仙台市災害復旧の現状と課題

株式会社深松組 代表取締役社長 深松努 氏

- I. 東日本大震災仙台市被害状況
- II. 仙台市津波被災の被害状況
- III. 施工中工事現場の災害
- IV. 津波被害状況写真
- V. 仙台市宅地被災の被害状況
- VI. 社団法人仙台建設業会災害措置対応対策本部の設置
- VII. 初動対応 緊急出動期
- VIII. 第 2 段階 区毎の部隊編成期
- IX. 第 3 段階 広域出動部隊編成期
- X. 第 4 段階 全市域出動部隊編成期
- X I. 現在の復旧状況
- X II. 東日本大震災を体験して
- X III. 東日本大震災から得られたこと
- X IV. 東日本大震災から復興へ向けての問題点

震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～

平成 24 年 2 月 3 日

東日本大震災におけるがれき処理の現状と課題

仙台環境開発株式会社 代表取締役社長 渡邊晋二 氏

I. 宮城県内の震災廃棄物の処理体制

- ・ がれき推定量
- ・ 処理区分（震災家庭ごみ仮置き場と津波廃棄物及び解体家屋搬入場）

II. 震災後の当社の対応

III. 井土搬入場におけるがれき処理

- ・ 搬入場の整備状況
- ・ 主ながれきの種類
- ・ がれき処理の課題

IV. 最後に

震災の記憶～巨大津波とどう向き合うか～

平成 24 年 2 月 3 日

よみがえる閑上のいきものたち

名取ハマボウフウの会 会長 大橋信彦 氏

I. その日、閑上は..

- ・ 3. 11 東日本大震災に遭った閑上の町と海岸

II. 芽を出した海浜植物

- ・ ハマボウフウの芽吹きと海浜植物たち

III. 復興イベント

- ・ 「ふるさと海辺フォーラム」、「栽培畑」に集う仲間

IV. 海岸林再生に向けて

- ・ 生き残ったマツと京都での苗づくり

V. カムバック・サーモン

- ・ 増田川、名取川を遡上するサケ

VI. 結びにかえて

- ・ 「ナチュラルステップ市民講座 in 名取」の開催